

平成29年度予算見積調書

課室名：森づくり課
 担当名：木材利用推進担当
 内線：4318

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B89	埼玉の木みんなを使って豊かな暮らし応援事業		一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	木材利用拡大対策事業費	
事業期間	平成14年度～	根拠法令	森林・林業基本法、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律		挑戦項目分野施策	040938 県産木材の利用拡大と林業の振興		
1 事業概要			5 事業説明					
高齢化した人工林の循環利用を推進するため、住宅建築等における県産木材利用に対する支援を行うとともに、県産木材の供給対策への支援や利用拡大を図るための情報発信などの対策を講じる。 (1) 県産木材の利用支援 71,400千円 (2) 県産木材の供給支援 17,000千円 (3) 県産木材の魅力発信 900千円 (4) 事務費 8,005千円			(1) 事業内容 ア 県産木材の利用支援 71,400千円 住宅等への県産木材の利用奨励 イ 県産木材の供給支援 17,000千円 県産木材製品の展示・PRや「さいたま県産木材認証制度」の運営に対する支援 ウ 県産木材の魅力発信 900千円 県産木材の魅力を発信するイベントに対する支援 エ 事務費 8,005千円 (2) 事業計画 ア 県産木材の利用支援 住宅等に対する支援 県産木材を60%以上使用した住宅の新築等に対する支援 350戸 イ 県産木材の供給支援 県産木材製材品ストック支援 製品市場等 森林認証取得支援 森林管理認証2者、加工流通管理認証2者 県産木材認証事業 さいたま県産木材認証センター ウ 県産木材の魅力発信 木づかい生活推進事業 木とのふれあいまつり、西川材フェアーなど (3) 事業効果 県産木材の供給量 平成27年度：87,000m ³ → 平成33年度：116,000m ³ 安心・安全な県産木材の住宅等への利用拡大が図られることにより、人工林の循環利用が促進され、活力ある「緑」が再生される。また、二酸化炭素の吸収・固定機能など森林の公益的機能の高度な発揮によって、安心・安全な生活の維持・増進にも寄与する。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 木材及び設計・建築関係者と連携し、県産木材を利用した住宅の提案、普及を図る。 (5) その他 木のある生活空間づくり事業を統合					
2 事業主体及び負担区分 添付資料のとおり								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×7.7人=73,150千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	68,405	繰入金					1,577	5,977
前年額	62,428						0	